

目 次

特集 日中韓・高層集合住宅の暮らし方とその生活世界

【日本語】

問題提起—民俗学と当たり前

- 岩本通弥（東京大学）「"当たり前"と"生活疑問"と"日常"」[1]
- 周 星（愛知大学）「平民・生活・文学—周作人の民俗学」[15]
- 李 相賢（安東大學校）「ドイツ民俗学と日常研究—ドイツチュービンゲン大学民俗学研究所の村に
ついての日常研究を中心に」[35]

集合住宅／普通の暮らしの今昔

- 篠原聡子（日本女子大学）「東京のマンションの展開と暮らし」[46]
- 南 根祐（東国大學校）「ソウル高層集合住宅の展開とアパート暮らし」[56]
- 王 傑文（中国伝媒大学）「北京高層集合住宅の暮らしと生活世界の変容」[67]

コメント—普通の暮らしの捉え方

- 大月敏雄（東京大学）「住み方調査と"建築計画学"」[80]
- 丁 秀珍（東国大學校）「韓国のサルリムサリ研究の展開」[85]
- 高 丙中（北京大学）「中国民俗学の新時代—公民の日常生活を研究する文化科学へ」[89]
- 戸 曉輝（中国社会科学院）「民俗学における『生活世界』概念の『当たり前』についての再考」[100]
- 重信幸彦（国立歴史民俗博物館）「世相史の可能性」[109]

【中国語】

提出问题——民俗学和理所当然

- 岩本通弥（東京大学）“理所当然”与“生活疑问”与“日常”[113]
- 周 星（愛知大学）平民・生活・文学——从周作人的民俗学谈起 [125]
- 李 相賢（安東大學校）德国民俗学与日常研究——以德国蒂宾根大学民俗研究所对乡村的日常研究为中心 [139]

集合住宅／普通生活的过去和现在

- 篠原聡子（日本女子大学）东京住宅楼的变迁与生活 [148]
- 南 根祐（東国大學校）首尔高层集合住宅的发展和公寓生活 [157]
- 王 傑文（中国伝媒大学）北京市高层集合住宅的生活及生活世界的变迁 [166]

评论——把握普通生活

- 大月敏雄（東京大学）居住方法的调查与“建筑计划学”[177]
- 丁 秀珍（東国大學校）韩国“日常生活研究”的发展 [182]
- 高 丙中（北京大学）中国民俗学的新时代——开创公民日常生活的文化科学 [185]
- 戸 曉輝（中国社会科学院）再问民俗学“生活世界”概念的理所当然 [194]
- 重信幸彦（国立歴史民俗博物館）世相史の可能性 [202]

目 次

【韓国語】

문제 제기—민속학과 '당연'

이와모토 미치야 (도쿄대학) · 「‘당연,’ ‘생활의문,’ ‘일상」 [206]

쫘 우싱 (아이치대학) · 「평민 생활 문학: 쫘우쥘런 (周作人) 의 민속학을 기점으로」 [219]

이 상현 (안동대학) · 「독일민속학과 日常 연구—독일 Tübingen 대학 민속학연구소의 마을에 대한
· · · · · 일상연구를 중심으로」 [236]

집합주택 / 일상생활의 과거와 현재

시노하라 사토코 (니혼 여자대학) · 「도쿄 맨션의 전개와 생활」 [246]

남 근우 (동국대학교) · 「서울 고층집합주택의 전개와 아파트 살림살이」 [255]

왕 지에원 (중국전매대학) · 「‘당연함’ 에 대한 재조명」 [264]

토론—일상생활의 연구 방법

오스키 도시오 (도쿄대학) · 「주거방식 조사와 ‘건축계획학」 [280]

정 수진 (동국대학교) · 「한국 살림살이 연구의 전개」 [285]

가오 빙중 (북경대학) · 「중국민속학의 새로운 시대—공민의 일상생활을 연구하는 문화과학」 [288]

후 시아오후이 (중국사회과학원) · 「민속학에서 ‘생활세계’ 개념의 ‘당연함’ 에 대한 재고」 [299]

시게노부 유키히코 (일본 국립역사민속박물관) · 「세상사 (世相史) 의 가능성」 [308]

日本民俗学会2014国際シンポジウム「“当たり前”を問う！—日中韓・高層集合住宅の暮らし方とその生活世界—」は、下記の団体および科学研究費助成金によって挙行された。

日時：2014年10月4日(日) 10:30~17:40

開催会場：成城大学3号館003教室

主催：日本民俗学会

共催：科研基盤A「東アジア〈日常学としての民俗学〉の構築に向けて」（研究代表者：岩本通弥）

科研基盤B「地域生活記憶集積メカニズムの解明とアーカイブ施設の社会実験及びその運営手法の構築」（研究代表者：大月敏雄）

科研基盤B「市民的教養としての歴史学—国際比較研究」（研究代表者：外村大）

後援：成城大学・日本建築学会

協賛：公益信託澁澤民族学振興基金・公益財団法人平和中島財団アジア地域重点学術研究

実行委員

岩本通弥（東京大学／実行委員長）、及川祥平（成城大学）、門田岳久（立教大学／事務局長）

川松あかり（東京大学）、小島孝夫（成城大学／開催校責任者）、重信幸彦（国立歴史民俗博物館）

高村恭則（関西学院大学）、周星（愛知大学）、鈴木洋平（東京都市大学／事務局）、田村和彦（福岡大学）